

ふれあい

伊勢崎市民病院だより

第1号
2002.1

〒379-0812 群馬県伊勢崎市連取町1180番地
TEL 0270-25-5022 FAX 0270-25-5023
<http://www.hospital.isesaki.gunma.jp>

伊勢崎市民病院
ISESAKI MUNICIPAL HOSPITAL



発刊にあたって

病院長 荒井 泰道

このたび患者様、地域の皆様、更には関係医療機関、保健・福祉との連携を密にするために伊勢崎市民病院だより「ふれあい」を発刊する運びとなりました。当院は昭和39年「伊勢崎病院」として発足以来、地域の皆様の健康を守ることを最大の使命とし、かつ要望に応えるべく整備発展し、今日に至っております。名称も公立で、しかも伊勢崎佐波地域の皆様に密着した大規模総合病院、地域中核病院としてのイメージとなるよう昭和54年「伊勢崎市民病院」と改称いたしました。平成10年には新病棟を完成させ、診療科数を19科と整備し、地域で医療を完結できるような高度医療と地域の皆様が最も必要とされる救急医療に最大限の力を発揮していく所存でございます。

また介護老人保健施設「ひまわり」、訪問看護ステーション「いせさき」を併設し、急性期医療を経た後の福祉（介護・看護）分野に至るまで、地域の皆様に利用しやすい公立病院としての役割を更に充実させていきたいと考えております。

この広報誌はこうした病院の医療内容を患者様、地域の皆様にお知らせする橋渡しとして発刊いたしました。しかし、従来の広報誌とは違い、病院からの一方的な情報提供のみでなく、患者様からの御意見や御要望も掲載していきたいと考えております。病院と患者様、地域の皆様との交流の場として、また、病院と診療所との連携、病院間の連携等の面からも幅広い活用ができるものと思っております。別掲しましたように「愛ある医療、誠実な医療」が当院の理念でございます。しかし、まだまだ不十分な点が多々あるように思われます。理念の精神が真に根付く病院づくりに邁進し、皆様に満足していただけるよう職員一同一層の努力をしていきたいと思っております。何よりも患者様、地域の皆様の御理解と御支援なくしては病院は成り立ってまいりません。今後とも、広報「ふれあい」を定期的に刊行していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

伊勢崎市民病院の理念と基本方針

理 念

「愛ある医療、誠実な医療」

基本方針

1. 患者さんの意思を尊重し、信頼される医療を提供します
2. 地域中核病院として、高度な医療と救急医療の充実に努めます
3. 関係機関と連携し、健全な病院経営に努めます

病院施設紹介



ベッド洗浄機

看護部長 木暮 悦子

伊勢崎市民病院では、患者様に入院生活を気持ちよく送って頂くために、患者様自身の清潔はもちろんのこと、患者様を取り巻く環境にも配慮しています。今回は環境の一つであるベッドの清潔をどのように行っているかをご紹介します。

ベッドはその昔、患者様が退院される度に職員が、掃除機とタオルを使って清掃していました。しかし、今は「ベッド洗浄機」を使って清掃しています。「ベッド洗浄機」といっても想像の仕様がなと思いますが、『洗車』を思い浮かべてください。洗車の方法は、車を洗車機の中に入れ、水と洗剤を使ってブラシで洗います。その後、ワックスをかけて終了です。ベッド洗浄も、やり方はこれとまったく同じです。写真のように、ベッドを洗浄機の中に入れます。ベッドを動かさないように固定した後、スイッチを押します。高压の水と洗剤で洗浄され、その後リンスされます。行程は、乾燥まで約15分です。



ベッド洗浄機

洗浄されたベッドは、患者様が安全に使用できるかどうか確認し、洗浄日を記入して、洗浄室に保管します。

さあ、新しく入院される患者様がお待ちかねです。ベッドは病棟までエレベーターで運ばれます。マット・ベッドパット・白いシーツを掛けて、枕、掛け布団を用意すれば出来上がりです。

入院されたり、見舞いに来られた折には、是非、ベッドに注目してみてください。清潔なベッドがそこにはきっとあるはずです。

メディカルトピックス



スキンケアについて 皮膚科医長 龍崎 圭一郎

そもそも「スキンケア」とは一体何なのでしょう。それは文字どおり、スキン（肌、皮膚）をケアする（気にかける、配慮すること）です。すなわち、肌を清潔に美しく保つということの意味します。これには肌の状態を改善するということと、改善された肌を維持するということが含まれます。

一口に「スキンケア」といっても、その方法や、それらに用いる薬剤などには、非常に多くのものがあります。それらについて一つ一つ説明する余裕はありませんが、身近なものでは洗顔や入浴、化粧品もその一つになります。また医療機関などで、専門家が行っているものもあります。

皆様は、誰でも一度は御自分の肌について気になったことがあるのではないのでしょうか。それは青春時代の「にきび」であったり、お

年を召されてからの「しみ」であったりすると思います。女性であればいつまでも美しい肌を保とうと願うため、なおさら気になることでしょう。肌のトラブルの悩みの程度は人それぞれですが、もし気になっている事があるのなら、一度専門家を訪れてみてはいかがでしょうか。そこで全ての悩みを解決できなかったとしても、何らかのアドバイスが受けられるでしょうし、最新の知識を得ることができることと思います。

伊勢崎市民病院皮膚科では、専門の外来を設け最新のレーザー治療装置を用いて「しみ」や「あざ」などの治療も行っています。

また、肌のトラブルの相談なども受け付けています。最近では美白ブームということもあり、「スキンケア」が注目されています。一度気軽にお越し下さい。

編集後記

病院の広報誌と言いますと、業務案内・事務紹介のイメージを持たれる方もいるかと思いますが、この広報誌「ふれあい」は、患者の皆様と病院スタッフとのコミュニケーションのためであります。『ひとりには万人のために、万人はひとりのために』自分も決して例外ではなく、時にはそのひとりの方になり、時には万人の方になるのだと自覚して初めて病院が万人のものとして最高の機能を発揮するものだと思います。この広報誌「ふれあい」は、そのメッセンジャーとして皆様の心運び続けたいと思います。（T.S）